## 4. トラブルとその対応事例

## 4-1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

事象分類別 ( a. 詰まり・堆積 )

1-09. リサイクル槽から溶液を移送するスチームジェット用の配管における詰まり						
事象の概要						
(1)発生場所:機器	   前処理建屋:リサイクル槽					
(2)設備の概要	溶解されずに残る不溶解残渣(溶解しない金属の微粒子)等を清澄機にて除去 した後、不溶解残渣を洗浄する際に使用した硝酸を受け入れ、清澄機手前の中 継槽へ戻すための槽。					
(3)発生の状況	リサイクル槽の運転中					
(4)概要	リサイクル槽から中継槽へ溶液を移送する際のスチームジェット(蒸気を噴射 させ、液を移送する機器)用の配管の不溶解残渣等の詰まりによる流量不足。 *他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。					
(5)原因	運転を継続する	ことで発生	する詰まり	(予め対応手	順を定めてい	いる)。
事象による影響						
(1)工場外への影響	工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備が 稼働しているリサイクル槽内およびスチームジェットでの事象およびそれに伴う 復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。なお、本 事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。					
(2)安全性への影響	<b>安全上の問題は</b> 別系統のスチー チームジェット としても、処理	ムジェット の流量不良	によりリサー	イクル槽の運	転が一時的に	支障を受けた
(3)作業員への影響	作業員への影響は生じない。 スチームジェット配管の詰まり除去の復旧作業は、セル外からの遠隔作業であり、作業員への影響は生じない。					
(4)他工程への影響	他工程への影響は生じない。 スチームジェットの作動性能が得られないため不溶解残渣の排出が出来ない影響が生じるため、別系統のスチームジェットにて運転を継続する。					
対応の概要	1.スチームジェット用配管の詰まりが原因であることを確認する。					
	   2.別系統のスチームジェットに切り替え運転する。					
	3.スチームジェット配管の詰まりを定められた作業手順に従って、洗浄液を供給して詰まりを除去する。					
4.定められた操作手順に従い、運転を再開する。						
公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)					
連絡区分*						
		トラブル情報		運転情報		
	A情報	B情報	C情報	ごく軽度な 機器故障	清掃・調整 等で復旧可 能な機器停 止等	不適合等

<sup>\*: 『</sup>A情報』: 安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、 『B情報』: 事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になる おそれのある事象等、 『C情報』: A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

